

Kitaibaraki International Communications Society



キックス

Vol.33 (2018年6月3日)

発行所：北茨城市国際交流協会
〒290-5411 北茨城市磯原町磯原1030
電話 0283-49-1111(内線178)
北茨城市国際交流協会 まちづくり推進課発行

<https://www.kicsteam.com/> 北茨城市国際交流協会

2017年度の活動報告と2018年度の活動予定をお伝えします。

北茨城市国際交流協会 会長挨拶

明石 俊彦

2017年度も皆様のご協力により無事終了することが出来、皆様に紙面をお借りし御礼を申し上げます。今年で当協会は設立24年目を迎えました。皆様と共に歩んできた国際親善理解活動が実を結びつつあることを大変意義深く考えております。ここまでこれられたのも、会員の皆様のお力添えがあったものと心より御礼申し上げます。これらの活動を継続的に行うことは、大変難しいこと

が多々ありましたが、これを会員が手を携え、前向きにやることが、胸を張って誇れることだと思っております。ボランティア活動を原点に、誇りに誇られることなくしっかりと、地に足を張り地道に活動してきたことが、この24年に繋がったものと思っております。KICSは今年も新しい発想のもと大きく飛躍すべく努力致します。皆様の後一層のご協力をお願い申し上げます。

2017年度 北茨城市国際交流協会定期総会

2017年5月21日 農工会館2階



川和田田紀子副市長、豊田弘俊副議長、鈴木和栄市議を迎え、定期総会が開かれました。議案は全て承認されました。尚、定期総会に引き続き今年度は3月下旬にワイロア市を訪れたKYAP-18若人親善大使の活動報告がありました。

メンバー10名が揃ってワイロアカレッジのユニフォーム・紺色のポロシャツを着て会場し、それぞれホームステイの感想や自分の思いを発表しました。どのメンバーも経験が活かされ個性がキラリと光り、自分をしっかりと表現できるようになりました。その後、国際理解セミナーとして遠藤祐紀さんの記念講演がありました。(後記・国際理解セミナーで)

KYAP-18若人親善大使の活動報告



KICS 国際理解セミナー

遠藤祐紀さんは2002年高校一年の時、KYAP-Bの国際親善大使メンバーとして参加したワイロアでのホームステイがきっかけとなって、海外に目を向けるようになりました。看護師としての勉強を積み重ね青年海外協力隊として、南太平洋のキリバス共和国で2年間、看護師隊員として日本と全く異なる文化の中で活動されました。

①青年海外協力隊としてキリバスへ 2017年5月21日 商工会館2階



②聖地サンティアゴへの道 2017年10月1日 防災コミュニティセンター



講師の日立市川尻在住の小野孝秋さんは昨年4月から5月の49日間を回り、フランス南西部の街サン・ジャン・ピエ・ド・ボルからスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラにあるキリスト教の大聖堂まで800KMの巡礼の旅に出ました。毎日30KMを雨の日も風の日も歩いて聖地への旅を続けました。更に、この聖地から90KM後方にある、アメリカ大陸発見まで地の果てと言われていたフィステラまで足を伸ばしました。この聖地への巡礼は1,000年も前から行われており、今でも年間20万人以上が、徒歩で、自転車で、馬で、自動車で大聖堂への巡礼の旅を続けているそうです。

JICA 研修生ホームステイと 北茨城市民夏まつり体験

2017年8月19日～20日 1泊

JICA 筑波センターの研修員が北茨城市を訪れ、市内ホームステイを体験するこの事業は今年度で第10回となりました。毎回10名程度の研修員が参加される事業でしたが、残念なことに今年度は初めて1名の参加にとどまりました。真実あるその1名の北茨城訪問者はアフリカ・ケニア出身の女性で Muhonja Linah さんでした。8月19日に北茨城市国際交流協会メンバーとホストファミリーに暖かく迎えられ、北茨城市民の小林さん宅に一泊二日のホームステイ体験を通じて、日本家庭の生活文化を初めて経験され大きな感動を受けました。Linah さんの日本での研修は3年です。小林ファミリーとはより一層の友好を深める機会が生まれることでしょう。



ホストファミリーの感想

私たち家族のもとにやって来たケニア人 Linah Muhonja さんは、軽やかに笑顔がこぼれ出してくる姿に、時間があっという間に過ぎていきました。スーパーでのお買い物、お互いの国の料理を作ったこと、花屋神社での参拝体験、川名浜海岸での水遊び、恒記ケニア衣装を着せてもらったこと、その全てが楽しく、一生の思い出になりました。彼女とは今後もSNSを通して交流を続けています。今後の経験をさせてい足さず、なぜ今まで参加をしなかったの足さずと感じ足ほど有意義なホームステイとなりました。以前から国際交流に興味はあったものの、中々参加できず申し訳ない気持ちですが、この経験を機に、さらに一層協力していきたいという思いが強くなりました。今後お機会がある限り、ホームステイやその他のイベントで世界と触れ合っていきたいと思っております。

協会スタッフ・若人親善大使のOB・OGと共に、ニュージーランド・ワイロアの皆さんとネットワーク交流を行っております。ニュージーランド・ワイロアの

皆さんとの相互理解を深めると共に、国際交流に興味のある市民のみなさんに是非参加して頂き、今後の若人親善大使事業の研修時にも、このネットワーク交流を活用して、より良い研修にして行きたいと思っております。どうぞみなさんお気趣にご参加下さい。

ワイロア市民とのスカイプ交流

2017年9月9日・2018年2月25日 パンプキン

第29回雨情の里港まつり参加

2017年11月5日 大津漁港

すっかり人気となりリピーターも沢山待っているキックスカレーとナン！そして国際交流活動の紹介とバザー！4年連続の出店となりました。晴れ男と晴れ女が揃っているのか今回も晴天！元KYAPメンバーも手伝いに来てくれて、スタート前にスタッフ一同で記念写真を撮る等、和気あいあいとした雰囲気での開店となりました。バザーは今年も朝8時に商品並べたそばから買い手が来る盛況ぶり、昼頃には見事に完売。カレー・ナン料理は途中、ナンの焼き上がりが間に合わず長蛇の列が出来てしまう程の人気ぶり、売れ行きで、今年は300食を用意しましたが2時には完売となりました。終わった後「今年も盛り上がったね、楽しかったね、美味しかったね、来年も頑張ろうね！」と皆で実感した1日でした。



第25回近隣大学留学生ホームステイ

2018年1月6日～8日 2泊



ホストファミリーの中澤守一さん、埴田孝男さん、児玉清次さん、飛田敏さん、鈴木洋子さんとご家族の皆様、大変有難う御座いました。

今日は茨城大学のベトナムとイランからの男子留学生各1名ずつ、茨城キリスト教大学からは全て女子学生でベトナム2名、インドネシア1名の合計5名の参加です。更にインドネシアからの企業研修生も特別に参加しました。歓迎会では餅つきをして、種笑いをし、特に女子学生は浴衣を着て日本の正月行事の体験をして貰いました。ホストファミリーと過ごした留学生は、日本の伝統的、歴史的な建物、神社、美術館、自然豊かな山や海などの見学、さんさ太鼓の体験、日本料理挑戦などを通じて日本の文化を経験したことに感謝をしていました。

**KICS 活動報告展示会と
KYAP メンバー募集活動**
2018年3月10日～11日 鶴原駅リブル

KICS、KYAP、そして国際友好親善都市ニュージーランドのワイロアの紹介・広報イベントが行われました。過去の事例やKICSの活動写真、記録映像、ワイロアの新聞、パンフレット、記念品等の展示を行いました。当企画にはキオラ会のメンバーの協力で経験者の生の声を興味のある方々へ直接届けることが出来ました。訪問者の方々からは「KYAP事業に応募したい」「これまで協会・事業の存在を知らなかった」等、色々な意見を聞くことが出来て大変有意義なイベントとなりました。今後、沢山の人の知って貰うためにも、この広報活動を続けて行きます。



2018年4月～2019年3月の活動予定

日 程	行 事 名	場 所
2018年 6月3日	北茨城市国際交流協会定期総会	中郷多目的集会所
7月	県国際交流・協力ネットワーク会議	水戸市
9月	ビデオチャット ワイロア市民と北茨城市民参加	北茨城市
9月	ワイプロ-9来市予定 *ホストファミリー募集中 国際親善友好都市NZ・ワイロア市より学生・一般を含め23名が来市	北茨城市
11月4日	雨情の里・港まつり	大津漁港
12月	ビデオチャット ワイロア市民と北茨城市民参加	北茨城市
2019年 1月	近隣大学留学生ホームステイ *ホストファミリー募集中	北茨城市
2月	国際理解セミナー	北茨城市
3月	KICS 活動報告とKYAP 広報活動 キオラ会協力	鶴原駅・リブル

編集後記

2018年度も沢山の活動を行います。「これは面白そう～ ちょっと気になる～」と思ったら是非参加してみませんか？ 又、料理、着付け、日本文化の紹介等、ボランティアとしてお手伝いをして下さる方、ご連絡をお願いします。そして、再度、9月と1月のホストファミリーの応募をお待ちしております。

「国際交流はいつも キラキラ 元気になります！！」

北茨城市・まちづくり協働課 TEL 0293-43-1111 にご連絡下さい